

# 安全データシート

作成 2025年07月22日  
改訂

## 1. 化学品及び会社情報 ( )

化学品の名称 (製品名)	EcoRosin-C
整理番号	EcoRosin-C
供給者の会社名称	荒川化学工業株式会社
住 所	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
担当部門	研究開発本部 コーポレート開発部
担当者 (作成者)	コーポレート開発部 ユニットリーダー
電話番号	029-865-2800
ファックス番号	029-865-2815
緊急連絡先	コーポレート開発部 ユニットリーダー
電話番号	029-865-2800
推奨用途及び使用上の制限	農業用資材

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は分類できない又は区分に該当しない

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 吸入すると有害

眼刺激

吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き : みだりに粉じんが発生しないように取り扱って下さい。

粉じん、ヒュームの吸入を避けて下さい。

よくフタをして貯蔵して下さい。

(安全対策)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 (換気が不十分な場合) 呼吸用保護具を着用すること。
- (応急措置) 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 漏出物を回収すること。
- (廃棄) 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性：可燃性があるので、火気に注意する。

粉じんが発生した場合、空気中に拡散すると粉じん爆発の可能性がある。

有害性：眼、皮膚、呼吸器を刺激する可能性がある。

環境影響：海洋環境の保全の見地より有害である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名：ロジン

成分	化学特性	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
ロジン	非公開	天然物につき該当しない	11-(4)-95	8050-09-7

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、症状により医師の診断を受ける。  
 皮膚に付着した場合：水及び石鹼で十分洗浄する。  
 眼に入った場合：直ちに、清浄な流水で15分以上瞼の裏側を含めて洗眼した後（出来ればコンタクトレンズを外して）、眼科医の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合：直ちに、多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける。意識のない場合は無理に吐かせてはいけない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水噴霧、粉末消火薬剤  
 使ってはならない消火剤：データなし

特有の消火方法 : 水または消火剤を使用して消火する。  
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:  
 消火活動では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項:

漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。  
 多量の場合、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
 発散した粉じんを吸入しないように、防じんマスクを着用する。  
 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。  
 静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。  
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気 : 局所排気内で取り扱う。

安全取扱注意事項 : 火気注意。  
 みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。  
 皮膚、眼との接触を避ける。粉じん、ヒュームの吸入を避ける。  
 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件 : 容器は直射日光を避け、密閉して屋内冷暗所に貯蔵する。ブロッキング等の可能性がある為、容器をストレッチフィルム等で覆わず、段積みを避け個別に貯蔵する。

安全な容器包装材料 : 特に指定なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

濃度基準値: 未設定

管理濃度: 未設定

許容濃度（日本産業衛生学会）:

粉じん  $2\text{mg}/\text{m}^3$ （吸入性粉じん）、 $8\text{mg}/\text{m}^3$ （総粉じん）

許容濃度（ACGIH）:

粉じん  $3\text{mg}/\text{m}^3$ （レスピラブル粒子）、 $10\text{mg}/\text{m}^3$ （インハラブル粒子）

設備対策 : 密閉された装置、機器の使用又は局所排気装置を設ける。

## 保護具

呼吸用保護具	: 防じんマスク
手の保護具	: 保護手袋
眼及び顔面の保護具	: ゴーグル型
皮膚及び身体の保護具	: 静電気防止用作業服、静電気防止用保護靴、静電気防止用保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粒状
色	: 淡黄色
臭い	: なし
p H	: 該当しない
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
融点／凝固点	: 77℃ (軟化点)
分解温度	: データなし
引火点	: 196℃
自然発火点	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
溶解度	: 水: 不溶 その他: トルエン、キシレンに可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
可燃性	: 可燃性
動粘性率	: データなし
相対ガス密度	: 該当しない
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 粉末は空気酸化されやすい。
化学的安定性	: 空気中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる可能性がある。
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし。 粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。
避けるべき条件	: 加熱、高温。粉じんの堆積。裸火、静電気、スパーク等による着火源との接触。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

## 製品についての情報

経口	: 製品情報から区分に該当しないとした。
----	----------------------

LD<sub>50</sub> (ラット) 7600 mg/kg

ロジンについては、LD<sub>50</sub> (ラット) > 5000 mg/kg の記載がある。

経皮 : 製品情報から区分に該当しないとした。

LD<sub>50</sub> (ラット) 2500 mg/kg

吸入 (気体) : 区分に該当しない。

吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できないとした。

吸入 (粉じん及びミスト) : 製品情報から区分 4 とした。

LC<sub>50</sub> 2.3 mg/L

#### 皮膚腐食性/刺激性:

製品についての情報 製品情報から区分に該当しないとした。

ラットを用いた試験において、軽度の刺激性との情報から、JIS 分類基準の区分に該当しない (国連分類基準の区分 3) とした。

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

製品についての情報 製品情報から区分 2B とした。

粉じん、ヒューム (発煙蒸気) を吸入すると、眼・気道を刺激することがある。<sup>1) 2)</sup>

ラットを用いた試験において、軽度の刺激性との情報から、区分 2B とした。

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性:

反復或いは長期にわたり吸入または皮膚接触すると、感作を引き起こす恐れがある。<sup>1) 2)</sup>

#### 呼吸器感作性

製品についての情報 製品情報から区分 1 とした。

ほとんどが職業ばく露の場合であるが、当該物質を含む松やに、はんだ融剤、樹脂酸などを扱う作業者が喘息あるいは喘息様症状を呈した症例報告が数多く出ている。その他に作業に関連した呼吸器症状の訴え、呼気流量の低下、気管支炎、さらに症状持続や重度の喘息発作が報告され、症状の発生と程度がばく露レベルに関連していることを示す記述もある。また、日本産業衛生学会で気道感作性物質の第 1 群に分類されていることから区分 1 とした。

#### 皮膚感作性

製品についての情報 製品情報から区分 1 とした。

モルモットを用いたマキシマイゼーション試験で陽性結果があること、ヒトで当該物質あるいは当該物質を含む産物に起因するとされるアレルギー性接触皮膚炎の報告が複数ある。以上より EU 分類も考慮して区分 1 とした。

#### 生殖細胞変異原性:

製品についての情報 製品情報から区分に該当しないとした。

マウスに経口投与後の骨髄を用いた小核試験 (体細胞 in vivo 変異原性試験) で陰性であり、in vitro 試験では、細菌を用いた復帰突然変異試験と哺乳類培養細胞 (CHL/IU) を用いた染色体異常試験の結果が報告されているが、いずれも陰性である。以上より区分に該当しないとした。

#### 発がん性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 生殖毒性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露):

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露):

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 誤えん有害性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 1 2. 環境影響情報

## 生態毒性:

## 水生環境有害性 短期(急性)

製品についての情報 製品情報から区分2とした。

甲殻類(オオミジンコ)での48時間 $EC_{50} = 4.5 \text{ mg/L}$ であることから、区分2とした。

## 水生環境有害性 長期(慢性)

製品についての情報 製品情報から区分2とした。

急性毒性区分2であり、急速分解性がない(BODによる分解度:36-46%)ことから、区分2とした。

残留性・分解性: データなし

生物蓄積性: データなし

土壤中の移動性: データなし

## オゾン層への有害性:

製品についての情報 データ不足のため分類できないとした。

## 1 3. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物:

法、条例に従い処理廃棄するか、または許可を受けた指定業者に委託し廃棄する。

## 汚染容器及び包装:

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。処理は法規の規定に従って行う。

## 1 4. 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類 : クラス 9  
副次危険性 該当しない  
容器等級 III

国連番号 : 3077

品名 : 環境有害物質(固体)

海洋汚染物質 : 該当する

国内規制 : 消防法 指定可燃物、可燃性固体類

## 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:

火気注意。

直射日光を避け、水濡れ及び荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

消防法	: 指定可燃物、可燃性固体類
労働安全衛生法	: 皮膚等障害化学物質等 ロジン 表示・通知義務対象物質 ロジン
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類物質）

---

## 16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 研究開発本部 コーポレート開発部

引用文献:

1) 産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会) 第40巻第4号(1998年7月号)

2) 1999 TLV and BEIs (ACGIH)

Akzo Coatings Inc, "Refined Gum Rosin" MATERIAL SAFETY DATA (1990.2.8.)

製品評価技術基盤機構 (NITE)、化学物質総合情報提供システム

GHS分類結果および分類根拠、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ

ここに記載された情報は、弊社所有のデータや種々の技術出版物に記載のデータに従ったものです。本製品を御使用になる場合は、使用者がその責任においてこの情報を御活用下さい。

なお、ここに記載された情報は、現時点での最新情報によるものですが、今後、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の公表等により、改訂がありうることを御承知下さい。